

一組総支部の開催行事

旗開き 2010年2月5日予定

定期大会 2010年2月19日(金)

東京清掃労働組合

一組総支部通信

一組総支部
事務局
一組本庁支部内
fax6238-0504
tel6238-0502
e-mail
seisou-ichkumi
@w7.dion.ne.jp

執行委員長
岡沢 徹
編集
教宣部長
福田雄一

港、千歳工場委託妥結に伴う諸問題の早期解決を！ 年末、年始対策期間を安全作業第一で！

迎春



一組総支部委員長
岡沢 徹

年頭にあたり、ひとこと挨拶申し上げます。一年間、一組総支部組合員の皆様には大変お世話になりました。年末の委託反対の座り込み行動には、収集運搬支部の仲間とともに、本庁のフロアをぎっしりと埋め、署名を手渡し、私たちの怒りの声をしっかりと当局に伝えることができました。

また、野球大会などスポーツ交流では、各支部で苦勞された結果、少ない職員数のなかで工夫して、盛り上げていただきました。さて、重大災害のあった昨年でしたが、本年は決意を新たに安全の一年としていかなうてはなりません。

値下げ競争企業の劣悪な労働条件下では、操業の安全安定は守れない。安全安定な操業、そして効率的な運営も、直営で可能と私たちは確信を持っています。

二月には、一組総支部は定期大会を迎え、役員も新体制となります。とはいっても、一組総支部組織は、組織率を見ると安泰というわけではありせん。

しかし、一組総支部は、一組の労働条件に関わるすべての交渉事項をする組織です。一組を引き続き安心して働ける職場とするためには、一組総支部が任務を果たしていかなければなりません。皆様の協力をお願いします。

諸問題に対する説明要求を開始しよう

常任、専門部
一組総支部委員長
副委員長
副委員長
副委員長
書記長
書記次長
会計
組織部長

敬称略
岡沢 徹
箱田修一
山下秀男
藤川勝己
武藤幸治
岩田正隆
中里保夫
内山健司
小久保 正
堀口 孝
池田直喜
湯本 優
綱川恵子
西田 久吉
青木一吉
駒井貞夫
加藤尚英
福田雄一
奈良有紀
小林源吾
浪江義男
細貝秀夫
山崎英美
西村好勝
小林喜代彦

一組総支部執行部
本年もよろしくお願いします。

一組総支部は、当初当局提案、そして再提案に関わる反対要請、交渉を期限ぎりぎりまで続けてきた。一歩踏みこんだ議論と内容について一定の判断を示すことになった。

「経営改革プラン2009」に基づき、9月18日の小委員会交渉で、清掃本部顧問委員長も出席する中、一組当局より示された平成22年度の千歳清掃工場、港清掃工場の運転管理業務委託提案については、この間、今季確定闘争と並ぶ清掃全体の闘いとして、その不当な提案の撤回を求める取り組み行動が展開をされてきた。

収集・運搬の仲間の全面的な協力も得た、全組合員とその家族署名、各区職労をつうじた署名の取組み、収集・運搬出身の中央執行役員及び当該各区の組合役員の協力を得て行ってきた区長要請行動、加えて我々一組総支部では各所属長要請も取り組まれてきたところである。

対一組当局に対する直接の行動としてはこの間、委託提案の撤回を基本に、提案内容の変更・修正を求めた。熱気に満ちた集会となった。今回の清掃工場委託提案は、2工場の委託をするので4,000万円のコスト増になると、当局が委託提案の前提として明らかにする中で実施しようとする、公共部門を民間に委託する際の財政効果そのものが破綻している、委託を行う根拠や理由付けも曖昧な、極めて不当なものである。

専門委員会の議論では、我々、一組総支部の主張や疑問点と、それに対する当局の回答が殆ど噛み合わず、当初10月30日としていた協議期限を延長する中で、専門委員会が継続して開催をされてきた。我々の主張は多岐に及ぶが、主な論点は、(1)今回提案が改革プラン期間中の赤字を想定しており、民間に清掃工場を委託する理由が成り立たない。(2)当局の主張する「民間活力の導入」を、うひとつの委託を進める目的とする、理由付けが殆ど理解できない。(3)工場の委託業務に

港・千歳工場業務委託の再提案に対する判断

求める5回の専門委員会3回に亘る総務部長要請行動、41項目に及ぶ今回提案についての説明要求交渉と当局回答交渉等を積み重ねてきた。

11月18日に、清掃本部西川委員長以下中央執行役員及び、収集・運搬の仲間の結果も得て行われた「港・千歳清掃工場運転管理業務委託反対座り込み要請行動」は、157名の参加のもと、この間取り組まれた10,960筆余に及ぶ署名を総務部長に手渡す中、当局の不当な委託提案撤回

に従事する人達が次々に入替わり、熟練した技術・技能が育たない状態にあり、そのつけや、しわ寄せが直営職員への負担となっている。(4)上記の事との関連もあり、委託業務の現場では共同作業を含む、委託請負契約の果たすべき法的コンプライアンスからの逸脱が日常化している事。(5)設備管理職員の採用は技術・技能の習熟に一定の期間が必要な点を考慮すれば、ベテランの

出ないもので、技術係への設備管理職員の配置を存続するべきである。(7)準備委託契約は本来受託業者が一組に金を支払って実施すべきものではないか？また、民間活力の導入を言うなら特命随意契約ではなく、競争入札とすべきではないか。(8)運転係は工場の基幹部門であり、今後の一組職員の技術・技能の継承という観点からも、直営の運転係を残すべきである。

活動予定と日程

- 1月8日 一組総支部 執行委員会
 - 15日 一組総支部 執行委員会
 - 20日 一組総支部 常任委員会
 - 27日 執行委員会
 - 28日 一組総支部 支部委員会
- 旗開き集会参加
組織対策、異動問題、安全衛生課題、労働災害対策 廃プラ、委託検証、署名行動 組織問題等

えんとつ
愛読書の一つに、ピーパルという雑誌がある。自然とエコロジーを基本にアウトドアの世界を満喫するための教則本みたいな内容が人気である。毎回、テーマがあり、その世界に通じるテクニクが満載で、とても興味



港清掃工場